

数理データサイエンス・AI 教育プログラム「データサイエンス概論」

自己点検報告書(2024)

1. プログラムの目的・修了要件

【目的】

今後のデジタル社会において、数理・データサイエンス・AI を、日常の生活や仕事等の場で使いこなすことができる基礎的素養を主体的に身に付けることを目的として令和4年度に開設した。

【修了要件】

「データサイエンス概論」(2単位)の単位を修得すること。

【授業概要】

この授業では、数理・データサイエンス・AI を実践するにあたって必要となる知識の概論および理論の基礎を学習する。身近なトピックを中心に切りあげ、グループワークや演習を通して、数理・データサイエンス・AI の基礎と、その応用事例、社会との関わりについて学習する。

2. プログラムの現状評価

本年度におけるデータサイエンス概論の実施状況について意見交換を行い、以下のような意見が出され、情報を共有するとともに、改善していく。

(1) 外部コンテンツの使用(教員側)に関する提供元への改善要望

- ・確認テストで履修者の名前が表示される画面において、学籍番号順や五十音順に並んでいない点について改善を要望する。
- ・初期設定では、確認テストの提出物一覧に未提出者が表示されない点について改善を要望する。

(2) 出欠の取り扱いについて

期限内に確認テストを受験していない履修者に対して、別途期間を設定し、履修者に不利益が生じないように科目担当者の裁量で柔軟に対応している。ただしExcelの演習を伴う回では、確認テスト受験およびExcelファイル提出の両方を確認できた場合のみ出席扱いとすることを確認した。

(3) 履修者支援の強化

Excelの演習に苦戦している履修者が一定数存在することを確認した。情報をAAに共有する取り組みを継続するとともに、次年度以降は学科の状況に応じてスポットでの対面指導の導入も検討する。

(4) ログイン情報の管理

後期開講の学科でログイン用メールアドレスを失念する履修者が一定数存在することを確認した。初回授業の進め方動画の配信や後期オリエンテーションでメールアドレス確認方法を周知することが効果的であるとの意見があった。

(5)パスワードリセットの対応

パスワードを失念する履修者が一定数存在することを確認した。事務局よりパスワードリセット方法を教員に共有し、履修者からの問い合わせに迅速に対応できるよう改善する。

(6)授業評価アンケートの回答率向上

授業評価アンケートの回答率が低い学科においては、最終授業の前に回答を呼びかける。

3. 今後の実施方法・体制について

以下の内容を確認し、プログラムの運営を改善していくことを確認した。

(1)次年度もオンデマンド形式で実施する。

(2)次年度も外部コンテンツを活用できるため、今年度と同様に各学部学科の専任教員が分担して担当する。